2009(平成21)年05月27日 東京都病害虫防除所

平成 21 年度 病害虫発生予察情報 速報 第 1 号

果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ)の発生状況について

1. 発生状況

- (1) 今年のチャバネアオカメムシのフェロモントラップ(東京都農林総合研究センター, 立川)への誘殺数(3トラップ平均)は,現在までのところ大発生であった2006年に 匹敵する程度であり,過去3年間では最も多い(図1)。
- (2)5月中旬の定期巡回調査では、果樹類をはじめとした農作物への大量飛来や吸汁害の発生といった状況は観察されていない。
- 2 . 発生予想
- (1) これまでの10数年にわたるフェロモン剤への誘殺消長の結果から,今後のチャバネアオカメムシ発生消長は2006年と同等となる可能性が高い。しかし,農作物への加害が生じるかどうかは,チャバネアオカメムシの本来の生息地である山林でのスギ・ヒノキなどの毬果の結実程度などにも影響されるので予測困難である。
- (2)発生消長が2006年と同等となった場合,果樹類への加害が想定されるので,早期の袋掛け等の対策が必要である。今後の発生については,予察情報に注意されたい。
- (3)防除薬剤については,表1を参照されたい。

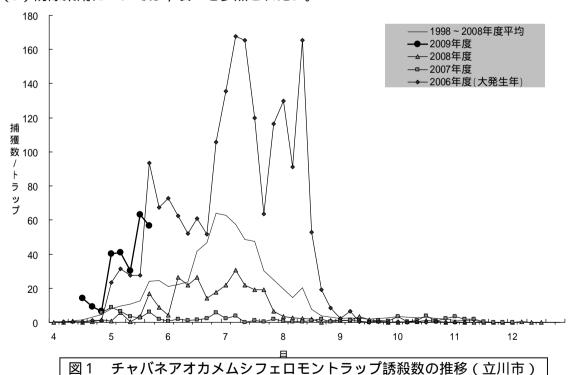


表1 主な防除薬剤(*印は桑園近くでの使用は不可)

12 1	T-010100000111	が条件(いる来因近くとの使用は小り)			
薬剤名	薬剤の系統	使用時期 (日数)	 使用回数 	ナシ	リンゴ
ア - デント水和剤*	合成ピレスロイド	7	3		
アグロスリン水和剤*	合成ピレスロイド	1	3	•	
アディオン乳剤*	合成ピレスロイド	1	2		
アディオンフロアブル*	合成ピレスロイド	1	2		
ロディー水和剤*	合成ピレスロイド	1	2		
Mr. ジョーカー水和剤*	合成ピレスロイド	14	2		
スプラサイド水和剤	有機リン	7	3	有袋	
		45	2	無袋	
スミチオン水和剤40	有機リン	ナシ14/リンゴ3	ナシ6/リンゴ3	有袋	
		ナシ21/リンゴ30	ナシ6/リンゴ3	無袋	
アドマイヤー顆粒水和剤*	ネオニコチノイト゛	3	2		
ベストガード水溶剤*	ネオニコチノイト゛	14	3		
アクタラ顆粒水溶剤*	ネオニコチ <i>ノ</i> イト゛	ナシ1/リンゴ7	ナシ3/リンゴ2		
アルバリン顆粒水溶剤*	ネオニコチノイト゛	1	3	0	
スタークル顆粒水溶剤*	ネオニコチノイト゛	1	3		

防除所ホームページhttp://www.jppn.ne.jp/tokyo テレフォンサービス042 (525) 8407 今後の予察情報にご注意下さい。 E-mail アドレスS0200303@section.metro.tokyo.jp